

製品名: NAGR1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82113**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	77.5kDa

抗原情報

遺伝子名	NAGR1
別名	CEAR; HNRPM; HTGR1; NAGR1; HNRPM4; HNRNPM4; hnRNP M
遺伝子 ID	4670.0
SwissProt ID	P52272
免疫原	大腸菌で発現したヒト NAGR1 (AA: 17-161) の精製された組み換え断片。

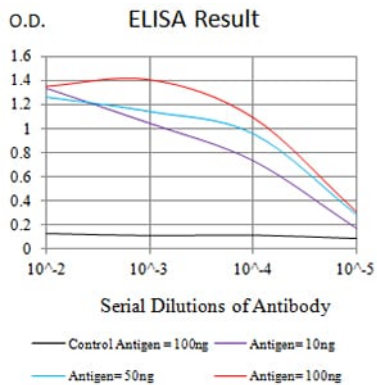
背景

この遺伝子は、普遍的に発現する異種核リボ核タンパク質 (hnRNP) のサブファミリーに属します。hnRNP は RNA 結合タンパク質であり、異種核 RNA (hnRNA) と複合体を形成します。これらのタンパク質は核内の pre-mRNA と関連しており、pre-mRNA のプ

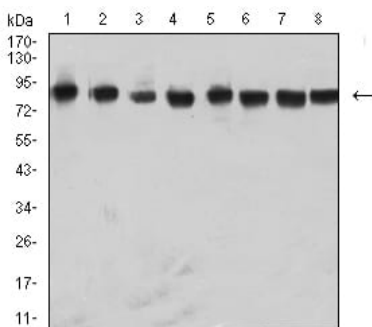
ロセシングや mRNA 代謝・輸送のその他の側面に影響を及ぼすと考えられています。すべての hnRNP は核内に存在しますが、一部は核と細胞質の間を往復しているようです。hnRNP タンパク質はそれぞれ異なる核酸結合特性を持っています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、RNA に結合する準 RRM ドメインの 3 つの繰り返し配列を有しています。このタンパク質は、未熟な GlcNAc 含有チログロブリン分子の選択的リサイクルを誘導すると考えられている N-アセチルグルコサミン特異的受容体のモノマーも構成しています。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエントが生成されます。

研究分野

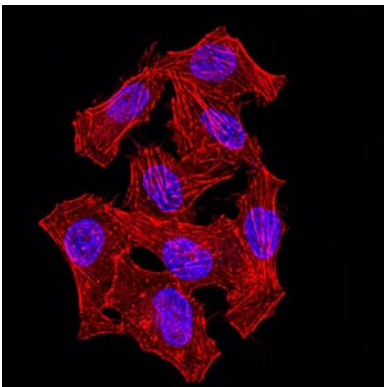
画像データ



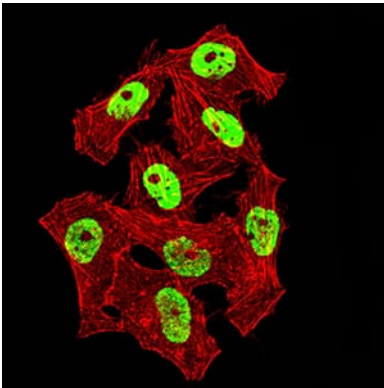
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



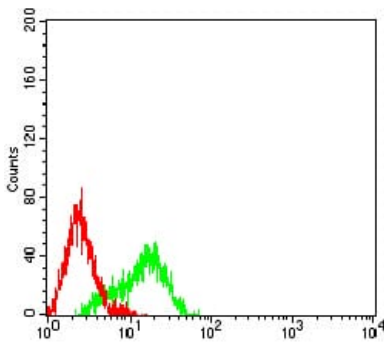
NAGR1 マウス mAb を用いた Raji (1) 、 Hela (2) 、 NIH/3T3 (3) 、 A431 (4) 、 A549 (5) 、 HepG2 (6) 、 PC-12 (7) 、 および U251 (8) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



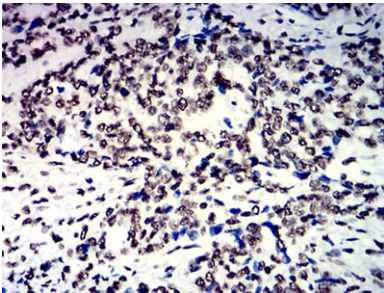
NAGR1 マウス mAb (緑) を用いた Hela 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



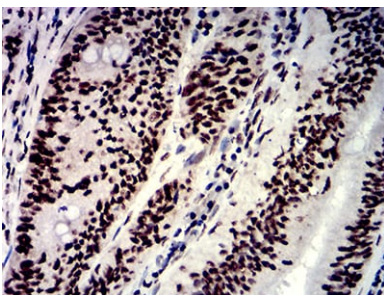
NAGR1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



NAGR1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。



NAGR1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。



NAGR1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。